

MATSUNAGA HEADLINE NEWS

2019
January Vol.36

大切な皆様に松永建設からお贈りするニューイヤーペーパー



感動創造建設会社

MATSUNAGA

発行元：株式会社 松永建設 発行人：松永大祐
〒339-0043 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番6号
TEL: 048-798-1751(代) FAX: 048-798-0075
URL: <http://www.matsunaga.gr.jp> ☎0120-980-633



年
賀

明けまして おめでとうございます。

本年も何卒、よろしくお願い申し上げます。

「感動」を創造する建設会社として社員一同、全力で邁進してまいります！

株式会社 松永建設 代表取締役社長 松永大祐



おかげ様で第56期を迎えました。

「すぐやる**実行力**、とことんやり抜く**徹底力**、ゴールへの**チームワーク!**」で、
本年も挑戦して参ります。



2019

当ヘッドラインニュースをもちまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

先手必勝経営の実践！ やり抜く実行力と価値連鎖で 本年もお客様に「感動」をご提供できる 企業として邁進して参ります！

新年明けましておめでとうございます。旧年中は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。こうして新たな年を迎えられましたのも、ひとえに皆様方のご厚情によるものと、改めて身の引き締まる思いであります。

● ● ●

昨年も、日本景気は堅調に拡大したものの、労働人口減少による人手不足、AIなどのデジタル技術の発展を筆頭に、わが国を取り巻く経済状況は瞬く間に変化し、複雑に多様化しています。そのスピードに対応できる柔軟性と外部環境の変化に一喜一憂しない盤石な基盤の両立こそ、現在の企業に求められていることであると考えております。

● ● ●

そうした折、弊社は昨年創業55周年を迎えました。4月には、創業55周年記念「報恩感謝の集い」を開催し、社員とご家族合わせて300人以上が参加しました。さて、この「報恩感謝」という言葉は、前会長松永功の代より社員一人一人が大切に胸に刻んできた言葉であります。弊社は人との出逢いの「縁」によって仕事に携わり、「縁」が「縁」を呼び日々成長することができました。皆様からの期待・励まし・感謝のお言葉があったから

こそ、現在の弊社があるのだと、感謝してもしきれません。

● ● ●

下記は弊社の第56期のスローガンになります。「先手必勝経営の実践」とありますように、環境の変化に屈せず、勝機をみずから切り拓いていくことが今期の目標です。日頃温かく見守ってくださっている皆様のご支援をもとに、新たな挑戦を「実行」し、各人が職責を「徹底的」に全うし、困難な課題に直面すれば「チームワーク」によって知恵を振り絞り解決する——全社員が主体的に一つのゴールに向かって取り組むことで、皆様により高い付加価値をご提供することができ、さらなる信頼の獲得に繋がると考えております。第56期の経営方針のひとつである「ビジネスマンとしての人間力向上」。すなわち「利他の精神」をもとに、チームワークを活かし、第56期も皆様の期待を上回る「感動」を創造できるよう、果敢に挑んで参ります。



株式会社 松永建設 代表取締役社長

松永大祐

最後になりますが、皆様の益々のご隆盛とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

第56期 松永建設グループスローガン

先手必勝経営の実践！

すぐやる**実行力**、
とことんやり抜く**徹底力**、
ゴールへの**チームワーク**！
～やり抜く実行力と価値連鎖こそ感動への道～

Event

第56期・経営計画 コンベンションを開催しました！

昨年10月27日、第56期となる新たな一年に向けて、松永建設グループ全社員が集い経営計画コンベンションを開催致しました。前期の成果を振り返り、今期でのさらなる発展を目指すべく、全社員で意思統一を図ることが当コンベンションの意義になります。当日は松永大祐社長より第56期における経営方針並びに今期スローガンと具体的な戦略が示達されました。

上記の挨拶にもありましたように、第56期は「先手必勝」の姿勢を貫き、お客様によりご満足いただける付加価値を提供することが我々のゴールです。その実現に向け、早期段階での情報共有や課題解決、高品質基準の確立が行えるよう、組織体制と部門間コミュニケーションを一層強化して参ります。どうぞ、第56期も松永建設にご期待ください。



Topics

松永建設の「担い手確保と育成の取組み」が、
全国建設業協会の優秀事例に選出されました！



一般社団法人「全国建設業協会」では、「建設工事における施工上の工夫・改善、事業提案事例」を会員に募り、その中から特に優れた事例を選出し発表を行っています。平成30年度は135事例から11事例が選出され、弊社土木部・土木1グループの田中吉朗課長が応募した「建設業の担い手確保・育成に対する取組み」が見事その一つに選ばれました。

田中課長は、平成30年11月19日、日本橋茅場町の鉄鋼会館で開催された「全建 技術研究発表会」の席上で事例の詳細について発表を行い、大きな関心を集めました。